

# ファイアウォール設定について

株式会社TKC

「e-TAX電子納税」を利用するためには、ファイアウォールソフトおよびファイアウォール機器等が、「e-TAX電子納税」の通信を許可する設定が必要です。  
そのため、貴社のシステム担当者様に、以下の設定となっていることをご確認ください。

## 1. 「e-TAX電子納税」の動作要件（ファイアウォール設定）

貴社のネットワーク上でファイアウォール機器等が動作している場合、以下の通信宛先およびポートへの通信を許可する設定となっていること。

宛 先	URL	ポート
国税電子申告・納税システム（e-Tax）	<a href="https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp">https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp</a>	443
地方税ポータルシステム（eLTAX）	<a href="https://www.portal.eltax.lta.go.jp">https://www.portal.eltax.lta.go.jp</a>	443
eLTAX 納付ポータルシステム	<a href="https://portal.payment.eltax.lta.go.jp">https://portal.payment.eltax.lta.go.jp</a>	443
株式会社TKC	<a href="https://etaxlicense.tkc.co.jp">https://etaxlicense.tkc.co.jp</a>	443
	<a href="https://cts.tkc.co.jp">https://cts.tkc.co.jp</a>	443
	<a href="http://ctsdwnld.tkc.co.jp">http://ctsdwnld.tkc.co.jp</a>	80
	<a href="https://ctsdwnld.tkc.co.jp">https://ctsdwnld.tkc.co.jp</a>	443
	<a href="https://www.prft.tkc.co.jp/">https://www.prft.tkc.co.jp/</a>	443
	<a href="https://tkcexpress.tkc.co.jp">https://tkcexpress.tkc.co.jp</a>	443
	<a href="https://www.tkc.jp">https://www.tkc.jp</a>	443
	<a href="https://cbc.tkc.jp">https://cbc.tkc.jp</a>	443
株式会社TKC (プログラムインストール ／プログラムダウンロード ／ISOダウンロード)	<a href="http://crl.*.amazontrust.com">http://crl.*.amazontrust.com</a>	80
	<a href="http://ocsp.*.amazontrust.com">http://ocsp.*.amazontrust.com</a>	80
	<a href="http://*.microsoft.com">http://*.microsoft.com</a>	80
	<a href="https://*.microsoft.com">https://*.microsoft.com</a>	443
	<a href="http://*.windows.com">http://*.windows.com</a>	80
	<a href="https://*.windows.com">https://*.windows.com</a>	443
	<a href="http://*.windowsupdate.com">http://*.windowsupdate.com</a>	80
	<a href="https://*.windowsupdate.com">https://*.windowsupdate.com</a>	443
	<a href="http://download.microsoft.com">http://download.microsoft.com</a>	80
	<a href="https://download.microsoft.com">https://download.microsoft.com</a>	443

※「521 通算親法人による法人税・地方法人税の一括ダイレクト納付」を利用する場合は、e-TaxHPの下記URLに記載の「認証」や「e-Taxソフト(WEB版)」の接続先の許可も必要となります。

(<https://www.e-tax.nta.go.jp/toiawase/qa/yokuaru09/50.htm>)

※「第六世代税理士用電子証明書」で電子署名する場合は、次のURLを許可してください。

宛 先	URL	ポート
リモート署名サーバー	<a href="https://jfcpta-rssp.hsm.toshiba.co.jp/">https://jfcpta-rssp.hsm.toshiba.co.jp/</a>	443
第六世代管理ツール	<a href="https://nzs6.e-probatio.com">https://nzs6.e-probatio.com</a>	443
第六世代管理ツール (可変文言データ取得、CP/CPS 参照用)	<a href="https://www.e-probatio.com">https://www.e-probatio.com</a>	443

## 2. 通信を許可するプログラム

ファイル名	ファイルの場所
EtsMain.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETNOZEI
EtsPKey.exe	
DownloadTkUpdate.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETNOZEI¥CTS
EtsAppLauncher.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETNOZEI¥CTS
	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETNOZEI¥CTS¥Temp
TkUpdate.exe	(OSドライブ):¥Program Files (x86)¥TKC¥Update
BasicSetup.exe	(OSドライブ):¥Program Files (x86)¥TKC¥Update¥***** ※フォルダ名の*****部分は、システム登録状況により値が異なります。「1.3.45.129」のように数値と「.」の組み合わせとなりますので、Updateフォルダ内を確認してください。
TkUpdate.exe	
TkUpdateOdm.exe	
DOTNETVer4DL.exe	
DOTNETVer2DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥FW4
instMS14DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥FW35SP
instMS22DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥MSEE2014
SQL2022-SSEI-Expr.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥MSEE2022
OEClient.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETNOZEI¥OEClient
SystemUsageSender.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETNOZEI¥CBC
	(OSドライブ):¥Users¥<ユーザー名>¥AppData¥Local¥Temp¥TkSystemUsage2nd
	※<ユーザー名>はコントロールパネル>システム>システムの詳細設定で環境変更Tempをご確認ください。

※「システムドライブ」は、e-TAX電子納税をインストールしたドライブです。

※「OSドライブ」は、OSが登録されているドライブです。

## 3. 設定が必要なネットワーク機器およびソフトウェア

- (1) UTM(統合脅威管理)製品・機器
- (2) ファイアウォール装置、ファイアウォールソフト
- (3) プロキシサーバー
- (4) ウイルス対策ソフト、セキュリティ対策ソフト等

(ご注意)

「e-TAX電子納税」をパソコンに登録した際に、コントロールパネル－インターネットオプションの「信頼済みサイト」に、国税電子申告・納税システム(e-Tax)のURL、および地方税ポータルシステム(eLTAX)のURLが登録されます。

## 4. プロキシサーバーの認証方式に関する制約

地方税eLTAX仕様では、プロキシサーバーの認証方式に関する制約として、対応している認証方式は「BASIC認証」「Digest認証」「Negotiate(NTLM)認証」とされています。

e-TAX電子納税をご利用のパソコンからインターネットに接続する経路に認証が必要なプロキシサーバーが設置されている場合は、その認証方式が「BASIC認証」「Digest認証」「Negotiate(NTLM)認証」のいずれかであるかどうかを、貴社のシステム担当者の方にご確認ください。

以上